



2023年12月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本塩町 2-11
THE YMCA 神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町 2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/井上 真二
編集/本部事務局
印刷/(有)わかばやし印刷

YMCA News



年間聖句

「平和や互いの向上に役立つことを追い求めようではありませんか。」
ローマの信徒への手紙14章19節より



..... (公財)神戸YMCA評議員、余島委員 ^{おくり} 小栗 ^{けん} 献 さん (神戸聖愛教会牧師)

漆黒の闇に沈むベツレヘムの野に、光が輝き渡ります。救い主の誕生の知らせを告げる天使に、天の大軍が加わって神を賛美します。

「いと高き所には栄光あれ。」

天使の大合唱が闇夜を圧倒します。羊飼いたちが聞いたこの歌「グロリア」はクリスマスの讃美歌になくはならない歌になりました。クリスマスシーズンには世界中でどれだけ多くの人々によって「グロリア」が歌われることでしょう。

グロリアとは「輝き」であり「光」です。輝きは本質的に神のもとにあるべきものです。「いと高きところに」あるものです。だから教会では、繰り返し神に栄光を帰する頌栄を歌ってきました。さらに天使たちは歌います。

「地には平和、御心に適う人にあれ。」

栄光が天にあるべきものであるなら、平和は地にあるべきものだというのでしょうか。

でも、わたしたちが今、この地上の現実に目を向けるとき、そこに平和があるとはとても言えません。今この時にも「地に平和!」と天使たちが歌ったまさにその場所で殺し合いが続いているのです。

聖書が語る歴史は争いの歴史です。敵意があり、憎しみがあ、殺し合いがあり、嘆きがあります。最初に「グロリア」が歌われた場所はそのような場所でした。その場所にイエス・キリストの誕生の知らせが届けられます。わたしたちは今、この世界に闇をみっていますが、それはイエスが来た時代も同じでした。「**光は闇の中で輝いている。**」(ヨハネによる福音書1章5節)、キリストは闇の中に光として来たのです。

「地には平和、御心に適う人にあれ。」 (ルカによる福音書2章14節)

クリスマスは、本来は神のもとにあるべき光が、地上に来た出来事でした。闇は光を必要とするからです。そしてこの世界が平和ではないから、キリストは平和の君としてこの地上に生まれたに違いありません。

「地には平和、御心に適う人にあれ」、それは祝福でしょうか？ 願いでしょうか？ これはわたしたちが歩むべき道を示すことばだと思います。天使たちは、すべての人に平和があることこそが神の御心に適うことだ。というメッセージを伝えたのではないのでしょうか。そうであれば、キリストの名によって立てられた神戸YMCAもまた、平和の主に従うものでなければなりません。

今年のクリスマス。「グロリア」と歌うとき、キリストは今この時にもこの闇の時代のただ中に光として来られることを思い起こしたいと思います。



一般財団法人 日本宝くじ協会の助成金の交付を受けて、集会用テントをご寄贈いただきました。このテントは全国のキャンプ場や幼稚園・保育園などで使用し、青少年育成活動のほか、バザーや運動会などの地域行事、災害時の支援活動などに用います。感謝してご報告申し上げます。

Pick up



新年を迎えるにあたり

「世界から神戸へ、そして神戸から世界へ すべての人がひとつとなるために」

会長 中道基夫
総主事 井上真二

2022年7月にデンマークで開催された第20回世界YMCA大会では、地球的規模の課題解決のために以下の4点を重点項目として掲げ、全世界のYMCAの行動指針となる「ビジョン2030」が採択されました。

- Community Wellbeing(心と身体の健康のために)
- Meaningful Work(やりがいのある仕事と環境の創造)
- Sustainable Planet(持続可能な地球のために)
- Just World(公正な世界の実現のために)



私たちを取り巻く世界は気候変動や新型コロナウイルスの流行、戦争やエネルギー問題、予想以上の少子化など課題が山積し、また先行きが不透明です。このような状況にあって、世界YMCAのビジョンを踏まえ、神戸YMCA中期計画VISION2030を策定し、私たちの使命、私たちの願い、そして実現のための柱を

決めました。これを基に各事業の2023年から2025年の3ヵ年計画を策定し、ポジティブネットのある豊かな社会を創るため、事業や運動の再興を図っていきます。地域の課題は世界の課題と密接につながっていること、世界から神戸へ、そして神戸から世界へとつながっていることを感じながら、神戸YMCAに連なるすべての人がひとつとなることを目指します。

＜私たちの使命＞

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

＜私たちの願い＞

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。

開館35周年記念イベント「アクアティックフェスティバル」

ウエルネスセンター学園都市

ウエルネスセンター学園都市は今年で35周年を迎えました。これを記念して、10月1日(日)、元オリンピック選手の山本貴司さんと千葉すずさんを講師にお迎えし、アクアティックフェスティバルを行いました。トークイベントとスイミングレッスンを実施し、7歳～78歳の延べ168名の多世代が参加しました。



トークイベントでは、臨場感のあるオリンピックの話題から、良く寝て何でもしっかり食べ、あきらめずに努力することの大切さまで、さまざまなことをご経験からお話いただきました。人柄がにじみ出る楽しいお話で、時に夫婦漫才のようにおもしろく、子どもも大人も心をわしづかみにされました。スイミングレッスンでは、ポイントを明確にわかりやすく、手取り足取り教えてください、その場でフォームが改善しました。

参加者からは「前向きなパワーをいただきました」「楽しかった!」「あと20年頑張れそう。今75歳。ありがとうございます」と喜びの声が集まりました。参加者の皆さま、共催いただいた村田建設株式会社様、お支えくださったすべての方に感謝申し上げます。



学院祭を実施しました! ~たくさんの笑顔が生まれた日~

神戸YMCA高等学院

秋晴れの10月21日(土)、高等学院の学院祭を開催しました。西神戸YMCA学園都市会館のワイワイまつりと一緒に行いますので、こどもから高齢者まで幅広い層が集い、世代を超えた交流と出会いの時となりました。

事前のホームルームで、出店内容についてみんなで知恵を出し合い、こどもたちが楽しめるように、ゲームコーナーを担当することにしました。またあて、コイン落とし、ボウリングなどを実施したところ、何度も足を運んでくれるこどもの姿が。こどもたちの笑顔があふれ、生徒たちもそれぞれの役割を果たしつつ、また同時に、自分たちもまつりを楽しんだ一日でした。懐かしいOB・OGたちも顔を出してくれ、高校時代の思い出話でも大いに盛り上がりしました。

多様な人が集う西神戸YMCAは、学校というよりも社会の縮図です。社会人として必要な知識と経験を積み、次の道へ歩みを進める生徒たちに、これからもエールをお送りください。



YYYフォーラム報告

口と体と肝臓を動かすYYYフォーラム

ひでひら ゆうま
会員増強委員会委員長・神戸キリスト教青年会常議員 秀平 悠磨さん



2回目となるYYYフォーラム市ヶ原ハイキングが、ワイズメンズクラブ六甲部共催のもと、26名の参加者によって9月23日(祝・土)に開催されました。

昨年より2週間遅い時期であり、風と木漏れ日が気持ちいい行程となりました。今回もコース世代の職員の方との交流に主眼をおいたプログラムで、年齢を問わず皆さん交流を図り、全員とお話しされた強者や、去年も参加されてましたよね? とうれしいやり取りも。またタイタコゲームでは必死になって相手に勝とうとするメンバーもいました。終了後は茶屋で乾

杯したり、下山して昼食を共にしたり。参加者の感想は「ワイズコーナー」をご覧ください。

体を動かすフランクな交流から、YMCA・Y's・Youthそれぞれの良さがみつきり・つながり・よくなっていくよう、来年以降も開催予定です。ぜひご家族ご友人もお誘い合わせの上ご参加ください。

来年1月20日(土)の午前には、三宮会館で「YMCAの未来のために伝えたいこと」と銘打った従来形式のYYYフォーラムも予定しています。こちらもご参加ください。

R E P O R T

ユースプラザKOBE・EAST

ユースプラザ夏まつり

8月27日(日)、地域の皆さんが集う場、中高生がいきいきと活躍し十分に力を発揮できる場として「ユースプラザ夏まつり」を開催しました。地域の皆さんと一緒に大きなイベントを実施するのは数年ぶりでした。

今回の「ユースプラザ夏まつり」は、企画から当日の飲食・ゲームコーナーの運営まで、中高生ボランティアが主体となって行いました。「小さな子どもたちが笑顔になるにはどう接したらいいか考えて行動した結果、“ありがとう”と言ってもらえた」と、自分のことだけではなく相手のことを考え、喜びを実感する姿がとても印象的でした。

子どもたちは、わたがし器の前で、わたがしができるの

をまだかまだかと待っていたり、ゲームコーナーの景品でもらったたくさんのお菓子を机に広げたりと楽しんでいました。

当日は160名以上の地域の皆さんにご来場いただき、大盛況でした。中高生が十分に力を発揮した成果でした。これからもユースプラザKOBE・EASTは中高生の活躍の場、周辺地域の方々が集う場を創っていきたくと思っています。



神戸市立太山寺児童館

図書のご寄贈をいただきました

太山寺児童館では、企業の方から寄付や寄贈品をいただくことがあります。9月の初旬に、日本イーライリリー株式会社様から図書をご寄贈いただきました。同社は社会課題のひとつである「ヤングケアラー」の問題にも取り組んでおられ、啓発活動(気づきや学びのきっかけ)になればと、絵本や漫画など、子どもたちが読みやすいものを選んで、本棚やポップと共に寄贈くださいました。

設置に気づいた子どもたちは、さっそく手に取り読みはじめ、日を追うごとにその人数も増えていき

ました。子どもたちの年齢はさまざまですが、みな真剣な眼差しで読み進めていました。また、保護者の方々の目にもとり、お子さんを見守りつつ本に目を通されている姿もありました。児童館にお越しの際には、ぜひ手に取ってご覧ください。

このような活動が広まり、その課題で苦しむ方々が救われるように、児童館もその一助になればと思っています。日本イーライリリーの皆さま、本当にありがとうございました。



神戸学園都市YMCAこども園

ふれあい運動会

9月30日(土)、秋晴れの青空の下、小寺小学校の運動場をお借りして、学園都市地域の3つの保育園の3歳児以上が集う「ふれあい運動会」を開催しました。

3歳児には初めての運動会。「汽車に乗ってどこまでも」では、暗いトンネルや崖などさまざまな場所で、くぐったりジャンプしたり、元気いっぱい体を動かしました。4歳児は料理番組でおなじみの曲に合わせて、友達と協力してハンバーガーやサンドイッチ、ケーキなどの料理を完成させました。

5歳児は、3園の67名でパラバルーンに挑戦。絵本『めっくらもっくらどおんどん』を題材にした「不思議な

世界であそぼう」のお話に合わせて、心をひとつにして不思議な世界を表現しました。また「グループ対抗リレー」では、勝敗はもちろん、力いっぱい走ることや仲間を応援することを楽しむことができました。

新しい試みでは、事前アンケートで内容を決めた保護者競技「大きなボールを運ぼう～みんなで力を合わせよう～」を実施しました。小学生のきょうだいや両親、祖父母といった幅広い年齢の皆さんが4人一組になってマットに乗ったボールを運び、大きな歓声と笑い声が響きました。これからも多くの笑顔があふれる園であるように、毎日の歩みを大切にしていきます。



こくさいのまど

第21回 アジア・太平洋YMCA同盟大会

9月13日(水)から20日(水)、「第21回 アジア・太平洋YMCA同盟大会」がインドのチェンナイ(旧マドラス)にて「回復力のあるコミュニティとしてともに歩むーVision2030を通しての生き方の変革ー」をテーマに開催されました。大会に先立ち「ユース・アッセンブリー」と「ジェンダー平等フォーラム」も開催され、21の国と地域から344名(うち日本は45名)が参加しました。

ユース・アッセンブリーでは、アジア各国のユースリーダーやスタッフが集い、YMCAでの課題や活

動、YMCA運動の推進に関して話し合いが持たれました。COVID-19により人的交流が制限された私たちに対して、国際的に協力していくためにはそれぞれのストーリーを共有し、顔を合わせて会話をしていくことが必要であると強調されました。同じユース世代の想いに刺激を受け、他国の現状を知ること、改めて日本が置かれている状況・課題を考える機会になりました。グローバルなYMCAとしてのミッションとローカルな活動の可能性について考えていきたいです。

大会参加職員 狩山 晴奈(西宮YMCA)



YMCA STORY

YMCAと私

学校法人 須磨浦学園学園長・学校法人 神戸YMCA学園評議員 やまもと よしかず 山本 義和さん

YMCAとの出会いは、今から60年前、過保護で軟弱に育ったわが子をなんとかしなければ、と考えた母に、余島の長期少年キャンプに参加させられたことでした。生まれて初めて10日以上、自宅を離れると知り、悲しい気持ちでいっぱいでした。案の定、最初の2日、3日は、なんとなく臭う井戸水のシャワーや、ランプしかない薄暗いキャビン、フナムシや蜘蛛、等々で落ち込んでいたのですが、後半には、大きな声でキャンプソングを歌い、海辺の時間を楽しみ、蝉の声や波の音も心地良く感じるようになっていました。そして、翌年の夏も余島キャンプに参加していました。

大学生になり、余島キャンプリーダー会からお誘いを頂き、4年間、夏休みは余島、冬休み・春休みはスキーキャンプのリーダーとして志賀高原で過ごしました。リーダートレーニングで、こどもたちとの接し方についての基礎知識や実際の行動を学び、カウンセラーやプログラムリーダーを担当させていただいたことが、その後の教員生活に大変役立つこととなりました。「明日の指導者は、今日造られる」、まさに人生に影響する体験をさせていただいたことに感謝いたします。

私立須磨浦小学校に就職した私は、サマースクールの担

当となり、1977年の余島野外活動センターのオープン以来、毎年利用させていただくことになりました。中には、余島リーダーになった卒業生もいます。

1999年からは、アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市にあるリッチモンド小学校との国際交流プログラムを神戸YMCAの仲介で始めることができ、今までに、両校あわせて1,000名以上の児童がホームステイをし、日米両国での貴重な家庭生活や学校生活を経験し交流を深めてきました。2000年からは「より良い英語教育に向けて」、国際センター、のちのランゲージセンターにも協力していただきました。

私は1995年から神戸YMCAの教育に関する委員会に所属し、現在も、学校法人 神戸YMCA学園の評議員を務めさせていただいています。それぞれの会で、つねにこどもと向き合い、こどもたちと共に謙虚に人間性を高めておられる皆さまとお出合いできたことに幸せを感じています。

私にとって、神戸YMCAは「人と出会い、神と交わり、愛の火のもえるところ」です。今、改めて、YMCAに感謝の気持ちでいっぱいです。

ブランシェール神戸北野より

ブランシェール神戸北野 事業所長 しまお ひとみち 島尾 侍道さん

ブランシェール神戸北野は、この神戸YMCA三宮会館にて「年代や国籍を超えた人たちとの関わりを楽しむ」「山の手の自然と、街中の利便性を揃えた環境」で、ご入居者お一人おひとりに心地良い「空間」や「時間」をご提供しています。

2023年5月の「新型コロナウイルス感染症が第5類に移行」を受け、7月にはYMCAの留学生との日本文化交流として「ふれあい寄席(落語)」を開催、客席は

笑い声に包まれ大盛況。さすが日本の伝統文化！笑いのツボは万国共通でした。改めて人と人との繋がりを感ぜられる一日でした。

ブランシェール神戸北野がご入居者向けに開催している行事についてご紹介させていただきます。「ゆうゆう体操」「たのしい書道」「楽しい脳トレ音読」「絵手紙の会」など。私たちは今日も明日も、心地良い暮らしを目指してご入居者の生活をサポートしていきます。

神戸のクリスマス

20周年を迎えた「神戸バイブル・ハウス」の記念事業の一環として、12月8日(金)に神戸文化ホールにて「神戸のクリスマス」が開催されます。片柳弘史神父(カトリック宇部・北岩山・高千帆教会主任司祭)によるメッセージ、関西学院大学グリークラブ、松蔭女子学院ベルクワイアーの演奏、また参加される皆さまとともにクリスマスキャロルを楽しむ時間もあります。大人もこどもも、どなたでもご参加できます。みんなでクリスマスのお祝いをいたしましょう。

日時:2023年12月8日(金)
19:00~21:00(18:20開場)
会場:神戸文化ホール(中ホール)
主催:神戸バイブル・ハウス
お問い合わせは神戸バイブル・ハウスHPから
(<https://kbh-bible.jp>)

神戸YMCA
遺贈制度

神戸YMCAを遺産の受取人に指定し、寄附いただく制度です。神戸YMCAは創立以来、多くの方々の物心両面からのお支えによって先駆的な働きを進めてまいりました。大切な財産を未来に遺し、神戸YMCAが今後も社会に必要な活動を展開できるよう、大切に役立ててまいります。

神戸YMCAの使命

神戸YMCAの願い

私たちは、すべてのいのちが尊ばれ、互いに支え合う平和な社会を創ります。

私たちは、世代を超えた人々が出会い、つながり合う場をつくり、日本YMCA基本原則に基づき豊かな未来を創造する責任ある人を育てます。
(神戸YMCA中期計画VISION2030)

ワイズコーナー

YYYフォーラム

六甲部地域奉仕・環境事業主査

さかもと りゅうたろう
阪本 龍太郎さん
(神戸西ワイズメンクラブ)

YMCAの活動において、「祈り」から始める文化を私はとても好きだ。集いの場を与えられたことに感謝し、集いの意味を全員で求める誓いを立てる。そして、参加できなかった人も含め、その集いを通じ一人ひとりの愛と奉仕の心が導かれることを願う。

今回のYYYフォーラムもそんな清々しい気持ちで自然の中に入ってゆくという、素晴らしいハイキングだった。布引の滝の水音を聞きながら、歩幅を合わせながらお互いの自己紹介を交わす。目的地の市ヶ原ではゲームで童心に戻り全員が仲良くなる。そして山中で解散。各々、奉仕の配置に戻っていくのだ。そんな自由で平等なYMCAが私はとても好きだ。今回は誰か誘って参加しよう。独り占めするにはもったいない。



感謝・寄附

(敬称略、順不同)(前号掲載以降~10/17現在)

寄附

守屋 裕子、澤井 恵子、齊藤 靖、原 寛、上杉 徹、高田 裕之、川原 真、中山 豊美、喜多 徹、松田 道子、松森 正樹、香川誠陵中学校29期生一同、アクアティックフェスティバル募金、神戸ワイズメンズクラブ、西宮ワイズメンズクラブ

チャリティーラン

松森 正樹、サンヨー環境株式会社、神戸ワイズメンズクラブ、宝塚ワイズメンズクラブ

国際協力募金

熊谷 郁子、宗行 孝之介、松田 健之介

この他にも、多数の募金・寄附をいただいております。感謝をもってご報告します。

ファミリーウエルネスセンター
ランゲージセンター
専門学校
西宮YMCA
余島野外活動センター
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)
国際・奉仕センター
ウエルネスセンター学園都市
西神戸YMCA
神戸YMCA高等学院
YMCAおひさま
西神南YMCA

☎078(241)7202
☎078(241)7204
☎078(241)7203
☎0798(35)5987
☎0879(62)2241
☎078(241)7216
☎078(241)7204
☎078(793)7401
☎078(793)7402
☎078(793)7435
☎078(793)9077
☎078(993)1560

須磨YMCA
YMCA保育園
西宮YMCA保育園
西神戸YMCA保育園
神戸学園都市YMCAこども園
神戸YMCAちとせ幼稚園
YMCAちとせ保育ルーム
西神戸YMCA幼稚園
西宮つとがわYMCA保育園
あかしこども広場
学園都市YMCA保育ルーム
ユースプラザKOBE・EAST
神戸市立太山寺児童館

☎078(734)0183
☎078(794)3901
☎0798(35)5992
☎078(792)1011
☎078(791)2955
☎078(732)3542
☎078(786)3821
☎078(997)7705
☎0798(26)1016
☎078(918)6355
☎078(794)3045
☎078(891)8222
☎078(794)4790

